

発達障がい部会報告

平成22年3月18日（木）

1 部会実施日

| | |
|----------------|------------|
| 平成21年11月17日（火） | 第6回発達障がい部会 |
| 平成21年12月10日（木） | 第7回発達障がい部会 |
| 平成22年 1月26日（火） | 第8回発達障がい部会 |
| 平成22年 2月26日（金） | 第9回発達障がい部会 |

2 取組内容

- (1) 関係機関の情報交換の場の設定
- (2) 学齢期・成人期の資源表の作成
- (3) 今後の取組課題の検討

3 取組概要

(1) 関係機関の情報交換の場の設定

部会のはじめに情報交換の時間を設定した。部会員が所属する機関の課題とされていること、取り組もうとしていること、他機関との連携に関することなどを情報交換した。また、研修会・講演会等の情報を共有した。新たな連携に関する観点を見いだすことができるなどの成果があった。

(2) 学齢期・成人期の資源表の作成

公共職業安定所、就業・生活支援センター、家庭児童相談室の方にも部会に参加いただき、資源表の作成についてご協力いただいた。学齢期と成人期を合わせた資源表とした。資源カテゴリーごとに主な利用年齢を意識して各資源を配置した。配付対象者は、乳幼児期の資源表と同様に支援者を考えている。

(3) 今後の取組について

今年度は、前年度の「発達障がい者について地域社会の理解が不足しており、連携ができていない」ことを受けて、連携強化の一助として資源表の作成に取り組んできた。資源表により発達障がい者の支援につながる社会資源については理解・啓発が促されていくことが期待される。しかし、資源表だけでは、実際的な連携強化にはなかなか結びつかないと思われる。そこで、今後は、支援者間のネットワークの構築や強化を図るための具体的な方法について検討を重ねていくことが必要ではないかと考える。